

頭皮冷却装置について ～抗がん剤による脱毛の予防～

抗がん剤治療は、がん細胞を攻撃することで治療効果を発揮しますが、その副作用として、髪の毛が抜けてしまうことがあります。髪の毛をつくる「毛母細胞」は、体の中でも特に細胞分裂が活発なため、抗がん剤の影響を受けやすく、脱毛が起こりやすいのです。脱毛は、治療中の心身の負担を大きくする副作用のひとつです。そこで、少しでも髪を守るための方法として「頭皮冷却装置」をご紹介します。

2019年、がん薬物療法に伴う脱毛の予防を目的とした「頭皮冷却装置」が、医療機器として厚生労働省に承認されました。この装置は、抗がん剤の投与前から頭皮を冷却し、頭皮の血流を一時的に低下させ、毛根に届く薬剤の量を減らします。その結果、髪の毛へのダメージを軽減し、脱毛の予防や、脱毛後の回復を早める効果が期待されています。



頭皮冷却装置の効果

脱毛の軽減

抗がん剤治療では、ほぼすべての方に脱毛が生じるとされていますが、頭皮冷却を行うことで、脱毛を抑えることができます。
※完全に脱毛を防げるわけではありません。

脱毛からの回復が早い

ウィッグが必要となるほどの脱毛が起きた場合でも、頭皮冷却を行った方の約85%が、抗がん剤治療終了後3か月ほどでウィッグなしで過ごせる程度まで毛髪が回復しています。
※頭皮冷却を行わなかった場合の回復率は約50%とされています。

※ご注意ください

頭皮冷却装置の使用の有無に関わらず、まれに一部の髪の毛が十分に再生しないことがあります。すべての方に同じ効果が得られるわけではないことを、あらかじめご理解ください。

頭皮冷却装置の副作用について

※重篤な副作用は報告されていません

頭皮冷却装置は安全に使用できる医療機器ですが、以下のような一時的な不快感や症状がみられることがあります。

- ・ストラップの締め付けによる頭痛（約75%）
- ・冷却による寒気や不快感（約68.8%）
- ・頭痛（約71.9%）
- ・めまい（約40.6%）

頭皮冷却装置を使用した場合の治療の流れ

- ・頭皮冷却は、専用のキャップを装着した状態で抗がん剤の投与を行います。
- ・キャップには約-4°Cに冷却されたクーラント（冷却液）が循環しており、頭皮の温度を約19°Cに保ちます。これにより、毛根に届く抗がん剤の量が減り、髪へのダメージを軽減することが期待されます。
- ・キャップは頭皮にしっかりと密着させることで効果が高まります。そのため、キャップカバーとあごのストラップをしっかりと固定します。
- ・冷却は、抗がん剤投与の30分前から開始します。投与中、さらに投与後90分間まで継続して行います。
- ・頭皮冷却を行っている期間は、日常のヘアケアも大切です。たとえば、ドライヤーの温風や強風の使用を避けることで、髪への負担を減らすことができます。



費用について

- ・1回の施術料金は18,000円（税込）です。
- ・頭皮冷却装置の使用は保険診療の対象外となるため、費用は全額自己負担となります。
- ・施術の途中で冷却を中止された場合でも、1回分の料金が発生いたしますので、あらかじめご了承ください。

ご利用にあたっての注意事項

- ・本治療は保険適用外のため、費用は全額自己負担となります。
- ・頭皮冷却を行っても、ウィッグが必要になる程度の脱毛が生じる場合があります。
- ・通常の抗がん剤治療に比べて、治療時間が長くなります。
- ・効果には個人差があり、期待される効果が得られなかった場合でも、費用の返金はできません。
- ・治療の経過を確認するため、頭部の写真撮影を適宜行います（お顔は写りません）。
- ・治療によっては、頭皮冷却が適応とならない場合があります。
- ・機器のトラブルが発生した場合は、頭皮冷却中断や治療日変更を行う場合があります。